

11月はロータリー財団月間です
THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



2012-2013

Mitsukaido R.C

50th Anniversary

2012-2013 年度 RI会長
田中作次

次回例会予定 12月 5日 移動例会
12月12日 クラブ総会 他

VOL. 50 No.20(通算No. 2341)

2012年11月28日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

常総きぬ川花火大会 2012 取材DVD鑑賞

解説 常総市商工会 沢辺悦雄様



写真提供:青木正弘会員

2012-2013年 度

会 長 青 木 正 弘

幹 事 石 塚 克 己

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax.0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>



11月はロータリー財団月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.50 No.19(No.2340) 11月21日(水)晴れ (司会 倉持功典委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話 間宮林蔵顕彰会 会長 間宮正孝様

ビ ジ タ ー

RI2820地区 ロータリーの友地区代表委員 石井健三様(つくば学園ロータリークラブ)
間宮林蔵顕彰会 会長 間宮正孝様

表 彰

米山功労者

ガバナーより表彰 ロータリーの友記事掲載(バナー自慢)



北村英明会員 登坂 寛会員



青木会長 ロータリーの友地区代表委員 石井健三様

幹 事 報 告 石塚克己幹事

週報受理クラブ 藤代RC

例会変更通知 なし

会 長 挨 拶 青木正弘会長



ご挨拶申し上げます。この処各地での降雪の便りも聞かれる時期になってまいりました。

皆様には、万病のもとと言われます風邪などひかぬ様ご自愛ください。

本日は、ロータリーの友地区代表委員でつくば学園ロータリークラブの石井健三様、間宮林蔵顕彰会の間宮正孝様にお出で頂きました。

会員一同ご歓迎申し上げます。

間宮様にはこの後、卓話をお願いしてありますので楽しみにしております。よ

ろしく願いいたします。

11月18日に石塚幹事と2人でRI2820地区第7分区の共同奉仕事業「牛久沼水浄化プロジェクト」に参加してまいりました。この事業は牛久沼漁協とロータリークラブ第7分区の共同事業で実施されました。朝10時から行われましたが、当日の牛久沼の様子は天気晴朗なれども波高しでございまして気合をいれて立っていないと強風で体がふらつくほどで体感温度はかなり低く感じました。

参加者は、近くの幼稚園児約50名とその保護者、分区内のロータリアン、漁協関係者、県職員、市職員で私は多くても20~30名程度の参加者かと思っておりましたが、想像していたよりは多い参加者がございました。程なく霞ヶ浦市の養殖場から2トラックの水槽に入れられて今年春に孵化したという「へら鮎」の稚



11月はロータリー財団月間です

THE WEEKLY REPORT

魚4,000匹が運ばれてまいりました。漁協の堤隆雄組合長が挨拶し牛久沼の現況を次のように話されました。20年前頃、沼の水質はかなりひどくなったが下水道の復旧と共にかなり改善されてきたが、TX開通により住宅地の造成が進み牛久沼へ流入する水量が増え再び少しずつ水質が悪くなってきていると話されましたが、現在牛久沼の魚は食べられるそうで水質浄化に役に立つ30センチもある貝や14種類のエビや魚が獲れるそうです。

続いて坂寄ガバナー補佐が挨拶し、続いて子供たちが小さなバケツに入った小鮎を放流し、残りを大人たちが放流して終了し牛久シャトーでバーベキュー、昼からワインを飲む予定でしたが私と幹事は其々所要があり無い後ろ髪を引かれる思いで仕事場に戻りました。

参加してみますと魚の放流を通して沼の生物、植物、水質を考えるには良いイベントなのかな！！と感じましたがもう少し暖かい日にやって頂きたいな？と思いました。

外部卓話 間宮林蔵 間宮正孝様



間宮正孝様 プロフィール

昭和35年5月生まれ。

茨城県つくばみらい市にある間宮林蔵の生家に生まれ、林蔵から数えて8代目にあたる。

昭和54年3月 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校卒業

昭和59年3月 山形大学人文学部経済学科卒業

昭和59年4月 株式会社東京光学機械(現株式会社トプコン)入社、測量機事業部にて測量機械の営業を担当。

平成2年より伊奈町商工会(現在つくばみらい市伊奈町商工会)経営指導員として地元商工業者の育成指導を行う。

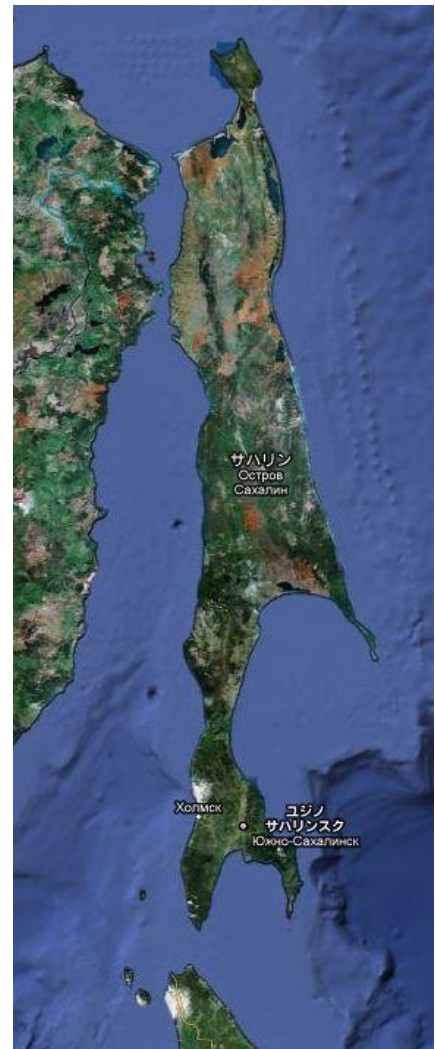
平成20年8月より企業組合菜の花代表理事、訪問介護事業所菜の花を運営。

■林蔵の故郷伊奈町(現つくばみらい市)

間宮林蔵は、安永九年(1780年)常陸国筑波郡上平柳村に生まれました。現在の茨城県つくばみらい市上平柳です。上平柳は、つくばみらい市の南の端、小貝川を渡れば取手市です。この小貝川の豊かな流れを目の前に見る農家の家に、間宮林蔵は生を受けました。そして林蔵は、幕府役人にその才能を認められ、故郷を離れて土木技術者としての修業をしました。

■地図を作ることは国を守ることー時代は大きく動いていた

林蔵は、幕府が開発に力を入れていた蝦夷地(北海道)に渡り、そこで伊能忠敬と会います。伊能忠敬は、日本全国を測量するその第一回目の測量で、東北から蝦夷地を測量しました。林蔵はその後、1807年にシャナ事件という事件に巻き込まれ、ロシア人に択捉島で襲われます。この時の屈辱が林蔵を樺太探検へと駆り立てたのでしょう。国を守る、ロシアの勢力の及ぶ範囲を正確に知るという使命



グーグルよりの樺太画像

11月はロータリー財団月間です THE WEEKLY REPORT

感が強まりました。この使命感が林蔵を樺太探検へと導いたのです。

林蔵が国防の意識を強く持ち樺太を探検したこの時代、日本は世界から注目されることになっていました。そして、開国へ向けた大きなうねりが押し寄せようとしていた時代でもありました。この激動の時代の始まりに、林蔵は生きたのでした。

■地図はその時代の科学技術の粋を結集して作られる

林蔵が描いた樺太の地図は、今の私たちから見ればだいぶ誤差があります。そして測量に使われた道具も貧弱なものでした。しかし、当時としては最先端の技術で作られた測量道具を使い、測量され描かれた地図は、今の私たちから見ても大変正確なものです。林蔵の時代から約200年を経た今、地図の精度



杖先羅針盤（椀化羅針）

は著しく高まりました。その利用も国防から防災へと、目的・意義も大きく変化しました。私たちが今利用している地図は、先人のたゆまぬ努力の賜物であり、正確さを追及した結果なのです。

出席報告（北村陽太郎委員長）

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	34名	23名	0名	22名	98.25%

ニコニコボックス（五木田裕一委員長）

入金計 ¥29,000 累計¥926,000

石井様、間宮様、ようこそおいで頂きました。青木(正)会員

間宮様、本日は宜しくお願ひ致します。石塚(克)・倉持 各会員

石井様、ようこそ。五木田(利)会員

間宮様、本日は卓話宜しくお願ひします。鈴木(勝)会員

長女 紗和子が、希望大学に合格しました。米山功労者表彰を頂きました。北村(英)会員

米山功労者表彰頂きました。登坂会員

先週例会欠席しました。すみません。また、忘年会欠席します。間宮様卓話宜しくお願ひ致します。

石井会員

本日早退致します。雨谷会員

例会欠席しました。山牟田・福田・古谷 各会員

会報委員会 松崎隆詞委員長 五木田利明副委員長 高須 薫委員